

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	花木で彩るスポーツ公園整備事業
事業主体 (連絡先)	大桑村 木曽郡大桑村大字長野 2778 大桑村役場総務課企画係
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,543,320円 (うち支援金: 1,234,000円)

事業内容

大桑村スポーツ公園は、多種多様なスポーツができる場所として、また集いの場として村民だけでなく県内外から多くの人に利用されている。

公園には木曽五木や八重桜を始めとする数十種類の桜の木、どんぐりや栃の木といった実のなる樹木が多く植栽しており、四季折々、季節毎の彩りが味わうことができる場所となっている。

しかし、こういった樹木も、年数の経過とともに枯れてきているものが目につくようになったため、枯損木等を伐採し、既存の花木の後継となるよう新たに八重桜やハナモモ、八重紅しだれ桜を植栽することで公園をさらに花木で彩り、村の資源でもあるスポーツ公園の魅力の向上を図ることを目的に実施した。

- ・整備・植栽: 10月中旬～11月上旬
- ・八重桜20本、八重しだれ桜6本、ハナモモ18本植栽 (園児17名植栽参加)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①この事業により、開花の時期にスポーツ公園において有志の団体が開催しているイベントが、今後も継続して実施することが可能となった。また新たなイベントも企画し広く浸透させることで、観光地づくりの推進と滞在型観光へ繋がることを期待できる。
- ②園児によるハナモモの植栽を実施したことで、自分のたちの成長とハナモモの成長と合わせ、今後もこの公園に愛着を持ち訪れるきっかけづくりができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

植栽した花木が立派に成長し既存花木の後継となるよう維持管理を行っていく。
スポーツ公園の良好な景観形成を図り、スポーツの拠点として、また交流の場として利用拡大を推進していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【園児による植栽の様子】

【目標・ねらい】

- ①既存イベントの継続した開催と新たなイベント等の企画開催
- ②地域の活性化と広域的な景観整備(形成)への発展(木曽地域のイメージアップ)
- ③観光資源として、また地域の憩い場、交流の場としてのさらなる魅力向上

※自己評価【B】

【理由】

スポーツや交流の場、イベント会場として多用途に利用が可能なスポーツ公園の魅力向上を図ることができた。